

アーナンダ病院 15周年記念祝賀会 (インド福祉村協会)

当協会は、1998年にインド北東部にあるウッタープラディッシュ州のクシナガラ（釈尊涅槃の地）にアーナンダ病院（日本名：インド福祉村病院）を開設しました。当時、クシナガラは貧しい農村で住民は満足な医療を受けることができませんでした。（クシナガラ地区は、多少改善されたとはいえ現在でも貧しい地域です）アーナンダ病院はチャリタブルホスピタルとしてわずかな費用で（時には無料で）医療を提供してきました。また、公衆衛生の知識・教育の普及により救える病気も沢山あるという考えから、妊産婦教育や学童に対する衛生教育も行ってきました。

この度アーナンダ病院は15周年を迎えました。長きに渡って病院を続けることができたのは開院以来院長を務めてくださっているグプタ先生の真摯で献身的な姿勢があったからこそだと思っています。また総勢15名のスタッフと定期的に現地を訪れる日本人医師そして多くの日本人ボランティアにも感謝の気持ちで一杯です。

去る10月20日、事務局のある愛知県豊橋市で15周年記念祝賀会を開催しました。祝賀会にはインドからグプタ院長だけでなく、サンジャイ・ガンジー医学研究所の内分泌外科学教授であるミシュラ先生も来賓としてご出席くださいました。協会からグプタ先生と3名の功労者に感謝状と記念品を渡し、感謝の気持ちを表しました。グプタ先生はスピーチで、今後もアーナンダ病院で地域の住民に医療を提供し続けていくと力強く話してくださいました。

(事務局渡辺康二)

